

下野新聞社・栃木県立図書館 共催

トークセッション

「戦乱」から見えてくるとちぎの歴史

～「昔」を知ると、「今」がわかる～

藤原秀郷龍宮城
蜈蚣城の図



月岡芳年「藤原秀郷龍宮城蜈蚣城の図（部分）」『新形三十六怪撰』
（明治23年、東京都立中央図書館特別展蔵）

「いくさ（戦）」と「ちから（政治権力）」の衝突をめぐる背景と、現在につながる「とちぎ」の地政学的役割を、3名の専門家が熱い議論を展開します！

■パネリスト

江田 郁夫 氏

（栃木県立博物館）

山口 耕一 氏

（下野市教育委員会事務局文化財課）

笹崎 明 氏

（壬生町教育委員会事務局生涯学習課）

司会：下田 太郎 氏（有限会社随想舎 編集部）

■日時：令和2年2月9日（日）

14：00～15：30（入場13：30～）

■会場：栃木県立図書館1階ホール

（〒320-0027 宇都宮市埴田1-3-23）

■定員：80名（先着順・入場無料・申込不要）

■お問い合わせ

下野新聞社（編集出版部）TEL：028-625-1135

栃木県立図書館（資料課）TEL：028-622-0105

* 会場内での飲食はご遠慮ください。

* 車でお越しの方は、県庁地下駐車場をご利用ください。

* 当日、大雪など交通機関に影響を及ぼす天候の場合は中止（開催前日に発表）となります。

中止の場合は、栃木県立図書館のホームページ等に情報を掲載いたしますのでご確認ください。